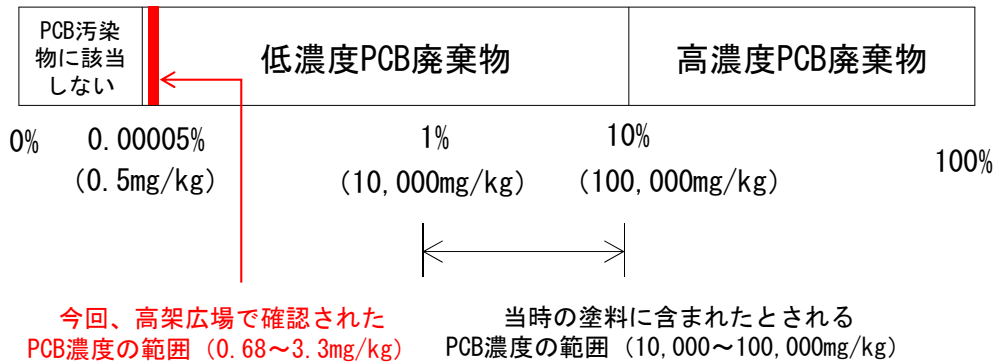


## ポリ塩化ビフェニル（PCB）含有塗料とは

- ・ PCBは水に溶けにくく、沸点が高い、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、様々な用途で利用
- ・ 製造当時（昭和41年～47年1月）は有害性が認知されておらず合法的な材料であったが、その後、有害性が判明し、製造や新たな使用が禁止
- ・ 当該塗料は、海岸地域のような比較的腐食性の大きい環境にある鋼構造物で標準的に使用された
- ・ 当該塗料のPCB含有率は、1% (10,000mg/kg) から10% (100,000mg/kg) 程度
- ・ 今回、高架広場で確認されたPCB含有率は、0.68～3.3mg/kgと非常に低い値
- ・ PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB特措法）によれば、保管事業者は令和9年3月31日までに処分しなければならないとされている



## 長崎駅前高架広場にかかる経過

追加資料

まちづくり部

昭和44年	架設
令和5年 1月27日	高架広場撤去工事 仮契約
2月13日	・ 岩川町歩道橋（※）（高架広場とほぼ同時期の架設）の撤去業者から高架広場撤去工事の受注予定業者へ情報提供があったことを受け、長崎市より県へ、PCB調査実施の有無を問合せ。県からは未実施との回答
3月15日	高架広場撤去工事 本契約
4月3日	受注業者へPCB含有調査を指示
5月16日	調査の結果、PCB含有を確認
7月31日	高架広場の塗装履歴について県へ問合せ。不明との回答
8月4日	高架広場撤去工事（PCB除去分）仮契約

※岩川町歩道橋（国道206号浦上駅前）  
昭和44年架設。平成10年塗装塗替え実施。  
令和2年に調査を実施し、PCB含有を確認（7mg/kg）。  
令和5年2月歩道橋撤去、8月PCBの除去・処分完了

## 周辺橋梁のPCB含有塗料使用状況

- 【長崎駅前歩道橋（A, B, C橋）】
- ・ 平成22年 塗装塗替え実施
  - ・ 令和元年12月 A橋、B橋、C橋ともPCB調査を実施（いずれも基準値（0.5mg/kg）以下）

